

2017/04/07(金)13:15

授業科目名	NPOとNGO		
担当者名	土屋真美子		
授業コード	102100601	開講キャンパス	目白キャンパス
開講年度学期	2017年度 前期	開講期・授業区分	週間授業
単位数	2.0	年次	2
授業の概要と方法	<p>【講義概要】</p> <p>1998年に施行されたNPO法により、NPOという名前は多くの人に知られるようになりました。現在のNPO法人数は5万を超え、福祉や環境など多分野にわたって、市民のニーズに沿った事業を展開しています。NPOでボランティアする学生も増えている一方で、全体像についてはよく知らない、運営はどうなっているのか、ほかの団体が何をしているのかよくわからない、という人もまだ多くいます。また、法律ができて約20年、NPOやNGOは社会の中で一定の役割を果たすとともに、課題も明らかになってきました。</p> <p>そこで、この授業では、NPOについての基礎知識を共有するとともに、実際の活動について、NPOの一線で働くゲストを招いて具体的な内容を伺います。現場ではどうやって社会課題に気づき、共感する人を増やし、アクションに結び付けるかを学びます。</p> <p>社会課題に気づく、という目的を達成するために、新聞等を素材に、社会の中で起きている生活課題から何が得られるかの議論を行い、考えをまとめます。現場のゲストから生の声を聞くと共に、ビデオ等で活動の紹介も行います。また、希望者には、現場体験やインターン先を紹介し、具体的な活動内容を実践する機会も提供します。</p>		
授業の到達目標	<p>NPOは、社会の課題に気づき、解決しようと考えた人たちが、個人力ではなく集団力で解決しようとした集団です。解決を誰かに任せるのではなく、自らの手で担おうと考えている人たちが、構成員になります。</p> <p>そうしたNPO、NGOの活動を理解するだけでなく、自分自身で課題に気づき、その意味を考え、活動している人の思いに共感し、実際に行動するきっかけを掴んでもらえればと思っています。</p> <p>そこで、この授業では、受講者が課題に気づく力、共感する力そしてアクションに結び付く力を獲得することが、目標です。</p>		
授業計画(半期15項目、 通年30項目 回数毎の内容含む)	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション:この授業に期待していること、これまでの経験等を出し合います。この結果は授業計画に反映させます。 2. NPO/NGOの意味:ボランティアとNPO/NGOの関係、NPO/NGOという組織についての基礎知識を共有します。 3. NPO、NGOの背景:現代社会でNPOとNGOが生まれてきた歴史的意味を議論します。 4. ワークショップ① これまでの授業でのNPOの知識をもとに、関心のあるNPO、NGOを調べ、発表します。 5. 具体的なNPO/NGO活動の紹介① ビデオや資料で、具体的なボランティア活動の紹介をします。 6. 具体的なNPO/NGO活動の紹介② さまざまな分野の活動を、ゲストを招いて紹介します。 7. NPO/NGOの役割は何か? 社会の中で、NPO/NGOの果たす役割を考えます。 8. 具体的なNPO/NGO活動の紹介③ さまざまな分野の活動を、ゲストを招いて紹介します。 9. 具体的なNPO/NGO活動の紹介④ さまざまな分野の活動を、ゲストを招いて紹介します。 10. ワークショップ② 関心あるNPO、NGOの発表 11. 事業的な手法で課題を解決する 社会的企業、ソーシャルアントレプレナーなどの動きも学びます。 12. 企業のCSRとNPO 企業とNPOのパートナーシップについて学びます。 13. ワークショップ③ NPOの事業計画作り/自分で活動をはじめるとしたら、何ができるかを考えます 14. ワークショップ④ NPOの組織づくり/どんな組織をつくれるのかを考えます 15. 成果発表とコメント 成果発表 コメントーターにもゲストを招く予定です。また、全授業の振り返りとまとめを行います。 		
	【評価方法】		

成績評価の方法	試験を行います。それだけでなく、毎回のレポート、授業での発言、ワークショップでの発言内容等により、総合的に評価します。
授業外で行うべき学修(準備学修・事後学修等)	【事前学習】定期的に自分の関心を持っていること、活動していること等を発表してもらいますので、発表前には事前の学習が必要になります。
使用テキスト	特にありませんが、必要に応じて紹介します
参考書(参考資料等)	
その他(受講生への要望)	希望者には、NPO活動のインターン、体験活動の紹介も行います。